



学校だより

令和8年8月27日
横浜市立南本宿小学校
校長 世古 正樹
No. 581

自己肯定感 ～自分のことを好きになろう～

校長 世古 正樹

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。静かだった校舎も、今日から再び活気にあふれています。夏休み中、子どもたちは家族との時間を過ごしたり、地域での活動に参加したり、さまざまな体験を重ねたりしたことと思います。その一つ一つの経験が、子どもたちの成長につながっていることでしょう。今日から新たな学校生活のスタートです。夏休みの経験を生かし、一人ひとりがさらに大きく成長して欲しいと思います。

さて、7月17日（金）の前期前半最終日の朝会で、次のような話をしました。

「40日間の長い夏休み、先生から、皆さんに一つお願いがあります。それは、この夏休みの間に、何か一つ、継続して一つのことをやり遂げて欲しい、ということです。学習をする、運動をする、日記をかく、習い事を頑張る、毎日お手伝いをする、何でも構いません。一つのことをやり続けたこと、やり遂げたことが自分の自信につながり、自分のことがもっと好きになります。この夏休みで、自分のことをもっともっと好きになってください。」

子どもたちが、この夏休みに何かを継続してやり遂げ、自分のことをもっと好きになっていくと嬉しいです。自分のことが好きになると、「自己肯定感」が高まっていきます。「自己肯定感」とは、「自分ってできるところがあるな、自分って大切だな、と思う気持ち」、すなわち「ありのままの自分を肯定する、自分自身を好意的に受け止める」ということです。自分のよさに気づき、自分を大切にすることが育つと、まわりの友達のよさも認め、友達を大切にしていこう、という気持ちにつながっていきます。前期後半からは、子どもたちに機会があるごとに、この「自己肯定感」について話をしていこうと思います。ただ、いきなり「自己肯定感」という言葉は難しいので、まずは、「自分のことを好きになろう。そのために、自分のよいところをたくさん見つけよう。」と話していきます。教職員全員と再度共有し、学習だけでなく、日常の生活においても、子どもたち一人ひとりのよさを認め、積極的に褒めて、子どもたちの「自己肯定感」を高められるように、教育活動を進めてまいります。ぜひ、ご家庭や地域におきましても、子どもたち一人ひとりのよさを見つめ、たくさん褒めて伝えていただければと思います。

6月24日（水）に旭公会堂で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト旭区予選会」が行われました。これは区内の各小学校の代表1名が、「国際平和のために、自分にできること」というテーマに沿って3分以内のスピーチを行うもので、本校からは学校代表として6年生の児童が出場しました。スピーチの題名は「相手のことを理解する大切さ」、日本とは異なる海外の文化や歴史を知ることを通して、先入観という色眼鏡をかけずにまっさらな心でまわりの人たちを理解することを学んだ、という内容でした。代表児童は、とても堂々と自分の考えをしっかりと述べていました。また、このスピーチコンテストに向けて、6年生全員が国際平和について考えて原稿を書いていました。自分が考えたことをこれからの生活でも意識をし、自分ができる国際平和に向けての取組を続けていって欲しいと思います。

まだまだ暑い日が続きます。運動会の練習もいよいよ始まります。学校では子どもたちの健康管理に十分配慮しながら教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※南本宿小学校のホームページに「学校日記」があります。学校での日々の教育活動を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。（「南本宿小」で検索してください。）